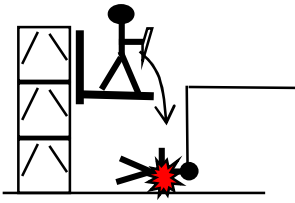
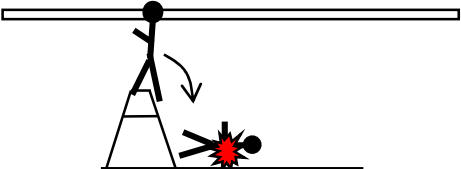
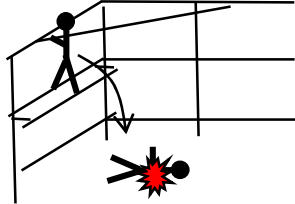
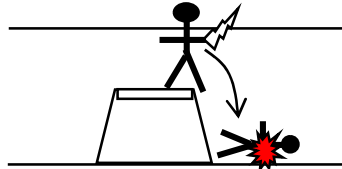
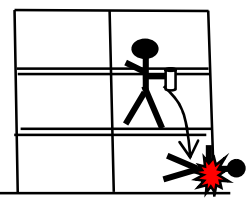
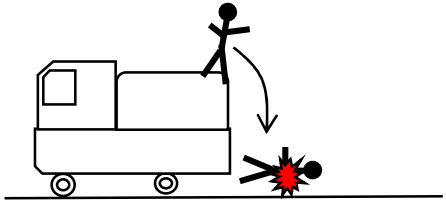


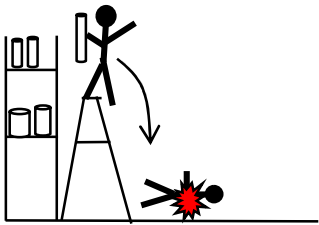
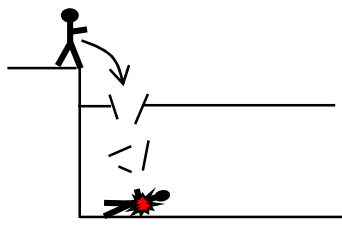
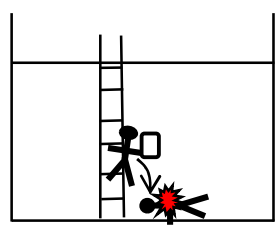
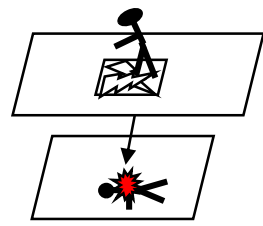
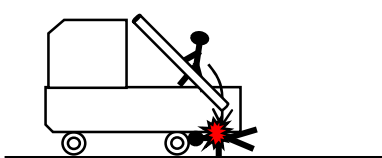
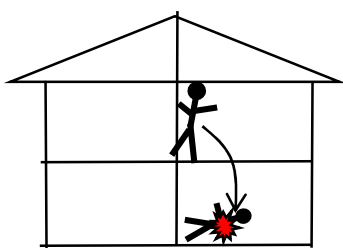
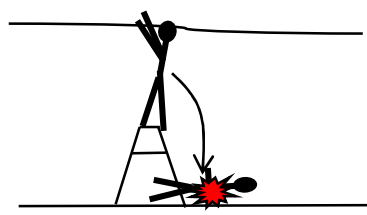
令和元年 建設業 3大災害事例

～ 墜落・転落 はさまれ・巻き込まれ 転倒 ～

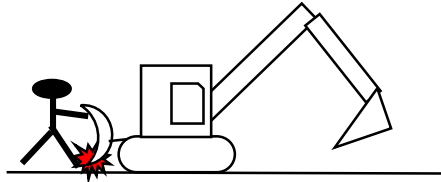
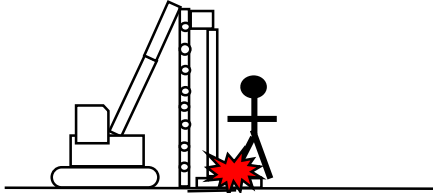
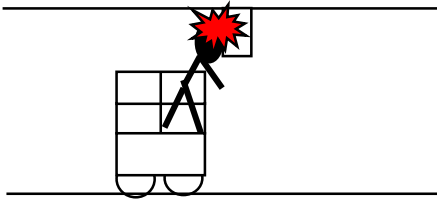
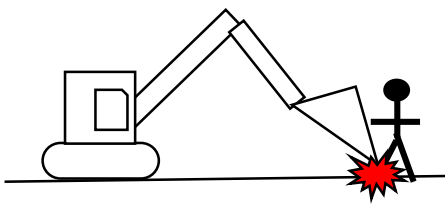
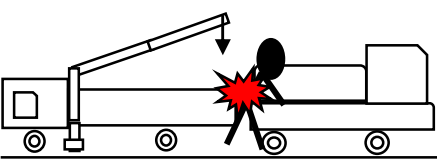
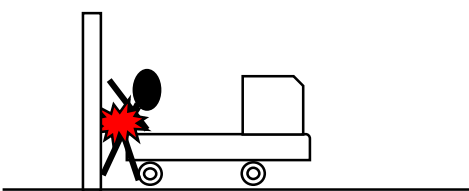
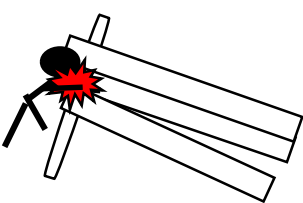
新宿労働基準監督署管内

墜落・転落災害

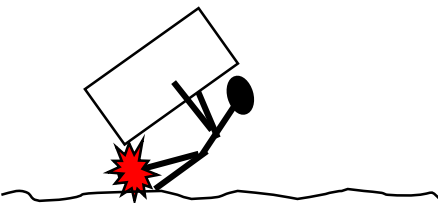
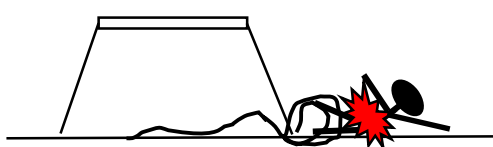
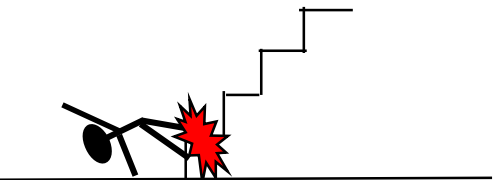
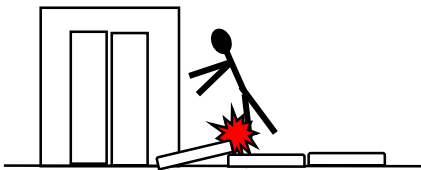
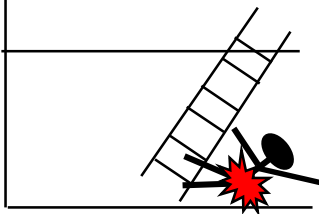
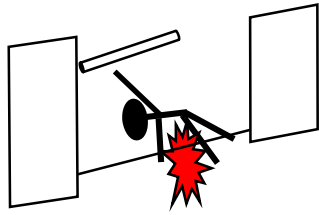
番号	年齢	職種	休業期間	災害発生状況の概要	イメージ
1	30歳代	土工	死亡	外部足場に設置された使用不可のリフトを使用して荷上作業中、8階にてリフト搬器上の材料を建物内に搬入していたところ、開口部のすき間（約35cm）から約22m下の地上へ墜落した。	
2	60歳代	大工	1年	マンション室内工事において、脚立の天板上に乗り、天井に埋め込んであるエアコンの配管作業をする際、足を滑らせて約1.2m下の床上に墜落した。	
3	20歳代	足場工	6か月	単管ブラケット足場3層目上で、火打ちパイプ（長さ4.5m）の取付け作業を行おうと安全帯のフックを一時的に外し、次の動作に移ろうとした際、バランスを崩し、地上まで約6m墜落した。	
4	30歳代	研工	4か月	立馬に乗り、ブロック塀の研り作業中、バランスを崩して約1.6m下に墜落した。	
5	50歳代	塗装工	1か月半	外部足場上で塗装作業中、足を踏み外して1.8m下の地上へ墜落した。	
6	40歳代	解体工	1か月	解体工事現場から発生した廃材をトラックの荷台に積み込む作業中、荷台に積んだ廃材の上で作業をしていたところ、足を滑らせ背中から1.8m下の地面に墜落した。	

7	60歳代	塗装工	2か月	会社内作業場において、塗料の片付け作業中、脚立の天板に乗り作業していたところ、足を滑らせて約2m下の地面に墜落した。	
8	40歳代	土工	3か月	作業場内で片付け作業を終え、休憩のため詰所へ向かう途中、縦横約1mの開口部養生（厚さ36mmのベニア板を栈木4本で固定したもの。）の上に段差80cmの高さから飛び降りた際、ベニア板が割れ、3m下の地下ピットに墜落した。（外国人労働者）	
9	40歳代	作業補助員	1か月	両手にビス箱を持ちながら、仮設はしごを1階から2階へ上る際、2段目で足を踏み外して約60cm下へ墜落した。	
10	40歳代	防水工	1週間	3階建て建物の屋上庇の防水工事において、トップライトのガラス（網入 厚さ約7mm）を誤って踏み抜き、高さ約2.5m下の廊下の床上に墜落した。	
11	30歳代	倉工	2か月	個人住宅屋根工事現場で使用した足場材（単管パイプ）をトラックの荷台上に積み込む作業中、荷台上であおりに乗せた片足が滑り、約1m下の地面に墜落した。	
12	60歳代	施工管理	1か月半	個人住宅新築工事現場の上棟作業中、2階梁上で作業していたところ、足を踏み外し、約2.5m下の1階コンクリート床上に墜落した。	
13	50歳代	電工	3か月	新築工事現場の電気配線工事において、脚立の天板に乗り、上を向いて作業していたところ、バランスを崩し、1.5m下の床上に墜落した。	

はさまれ・巻き込まれ災害

番号	年齢	職種	休業期間	災害発生状況の概要	イメージ
1	40歳代	解体工	2か月	車両系掘削用機械の点検と動作確認を行っていた際、排土板の調整金具を取り外していたところ、運転者が誤って排土板を下してしまい、排土板と地面の間に足を挟まれた。	
2	50歳代	杭打工	3か月	基礎工事中用機械を用いて山留杭圧入作業中、地面に設置してある定規に足を掛けていたところ、揺れ動くリーダー下端と定規の天端の間に足を挟まれた。	
3	30歳代	墨出工	2週間	現場内で高所作業車を移動中、作業床の手すりや躯体の梁の間に顔面を挟まれた。	
4	20歳代	技能実習生	1か月	路面改良工事現場において、L形側溝の取り壊し作業中、車両系掘削用機械のバケットを稼働させたところ、バケットの爪と掘削面との間に足を挟まれた。(外国人労働者)	
5	50歳代	組立作業員	2週間	資材搬入トラックが現場内にバックで入場して来たため、慌ててトラックの後部へ行きバック誘導を行っていた。さらに切り返してトラックを寄せようと誘導していたとき、背面に停車していた移動式クレーンとトラックの後部の間に腕を挟まれた。	
6	30歳代	配管工	1か月	現場で使用する材料を倉庫において積み込むための準備作業を行っていたところ、後方から被災者に気づかずバックして来たトラックと駐車場の壁との間に体が挟まれた。	
7	50歳代	杭打工	1か月半	搬入路のL型溝を養生するための鉄板切断作業中、3枚に切断後、1枚(1.5m×0.35m)を片手で持ち上げたが付着していたことから離れず、力を入れて持ち上げた際、鉄板が地面に落ち、鋼材と鉄板の間に手を挟まれた。	

転倒災害

番号	年齢	職種	休業期間	災害発生状況の概要	イメージ
1	20歳代	技能実習生	5か月	資材置場でパネルを担いで運んでいるとき、雨で地面が滑りやすくなっていたため、足を出した際に滑り、膝をひねって転倒した。(外国人労働者)	
2	30歳代	内装工	3か月	立馬上で天井の下地作業を終え、ステップを使い床上に降りたとき、足元にあった電気ケーブルに足をとられ足首を捻って転倒した。	
3	30歳代	事務員	1か月	事務所内の階段を下りていたとき、最後の1段で足を踏み外し、転倒した。	
4	50歳代	軽作業員	3週間	エレベーター前で作業中、床に敷いた養生材(ベニア板)が少し浮いてすき間になっていた部分につまずき転倒した。	
5	30歳代	現場作業員	1か月	個人住宅新築工事現場において、はしごを使って2階から1階へ降りる際、床上に着地する瞬間にはしごが倒れるとともに転倒した。	
6	30歳代	揚重工	3か月	車両搬入口の1階仮囲いゲートにおいて、仮設資材運搬作業中、足元のゲート固定ワイヤロープにつまずき、バランスを崩して転倒した。	

※ 本事例は、新宿労働基準監督署管内（新宿区・中野区・杉並区内）における建設業の災害のうち、災害の多い事故の型ワースト3で主な事例をまとめたものです。

皆様で本災害の原因と対策を考えて、同種災害の再発防止に努めてください。